学校番号	206

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理表現Ⅱ	2	3	・CROSSBEAM 4（エミル出版） ・Steady Steps to Writing （数研出版） ・英単語ターゲット 1900 六訂版 （旺文社） ・Vision Quest 総合英語 Ultimate 2nd Edition（啓林館）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・外国語科では、変化の激しいグローバル社会において、確かな知識と教養を基盤に英語力を高め、多様性を尊重しながら他者と協働し、主体的に課題を発見、問題解決を図りながら最適解を導き出す能力を育成していきます。
・３年生の論理・表現Ⅱでは大学入試を見据えて既習の文法事項等を基盤とした基礎力を、長文読解や和文英訳、自由英作文など様々なスタイルの問題に対して対応できる実力へと昇華させていくことを目標に取り組んでいきます。特に英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。また、音読は知識を内在化させることはもちろん、正しい発音を身につけてリスニング力を強化する上でも有用です。基本に忠実に、たゆまぬ努力を重ねていきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第〇学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。 ・はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。 ・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。	・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。 ・難しい部分を読み返すなどしながら、よく知っている分野の説明書や記事などを詳しく理解することができる。 ・小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけではなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。 ・やさしい英語で書かれた物語を読み切り、全体の筋を理解することができる。	・病院や役所など公共の施設において、自分の要求することを正確に説明して、必要な手続きを滞りなく済ませることができる。 ・論点の明らかな英文を読み、また、話された英文を聞いて、それぞれのポイントを捉えて、その概要を簡潔に話すことができる。	・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ・社会的なトピックについて幅広く意見や情報の交換をすることができる。	・旅行などの自分の行動について、物事の順を追って筋道立った文章をいくつかの段落で書くことができる。 ・興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ・身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ・慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の特徴やきまりに関する事項 ・教科書や副教材の問題を使い、各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。 ・課の学習を通じ、各文法事項の用法を理解し、タスクの中で適切に使うことができるかどうかを評価する。	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ・教科書のタスク活動等を通じて、パートナーと適切にやりとりができるかどうかを評価する。 ・既習事項を、長文読解やライティングで有機的に応用して使えているかを評価する。	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしようとしている事項 ・間違うことを恐れず、対話をしている。 ・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現を使い言い換えるなど、対話を継続しようとしている。 ・授業中に理解できたこと又は理解できなかったことを整理し、必要な自主学習を加えた上で次に生かそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
	Chapter 1 杉原千畝 Chapter 2 スローフード	話すこと （やり取り）	a: 時制・助動詞・態の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、相談メール、書店での説明といった場面、状況において情報を伝える技能を身につけている。 b: 時制・助動詞・態の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、相談メール、書店での説明といった場面、状況に応じてやり取りしている。 c: 時制・助動詞・態の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、相談メール、書店での説明といった場面、状況に応じてやり取りしようとしている。	ペアワーク グループワーク 発表 振り返り
	Chapter 3 電気自動車 UNIT 1 文構造 UNIT 2 It を使った構文	話すこと （発表）	a: 時制・助動詞・態の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、相談メール、書店での説明といった場面、状況において話をする技能を身につけている。 b: 時制・助動詞・態の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、相談メール、書店での説明といった場面、状況に応じて話をしている。 c: 時制・助動詞・態の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、相談メール、書店での説明といった場面、状況に応じて話をしたり、自分の意見と理由を述べながらディスカッションしたりしようとしている。	スピーチ 振り返り
	UNIT 3 注意すべき主語と動詞 UNIT 4 時制	書くこと	a: 時制・助動詞・態の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、相談メール、書店での説明といった場面、状況において情報を記述する技能を身につけている。 b: 時制・助動詞・態の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、相談メール、書店での説明といった場面、状況に応じて書いている。 c: 時制・助動詞・態の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、相談メール、書店での説明といった場面、状況に応じて原稿を書こうとしている。	ワーク スピーチ原稿 ライティングシート 振り返り
	中間考査			
	Chapter 4 女性医師誕生 Chapter 5 テクノロジー概要 Chapter 6 リーバイス	話すこと （やり取り）	a: 不定詞・動名詞・分詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況において情報を伝える技能を身につけている。 b: 不定詞・動名詞・分詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況に応じてやり取りしている。 c: 不定詞・動名詞・分詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況に応じてやり取りしようとしている。	ペアワーク グループワーク 発表 振り返り

	UNIT 5 助動詞 UNIT 6 仮定法 UNIT 7 比較	話すこと （発表）	a: 不定詞・動名詞・分詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況において話をする技能を身につけている。 b: 不定詞・動名詞・分詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況に応じて話をしている。 c: 不定詞・動名詞・分詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況に応じて話をしたり、自分の意見と理由を述べながらディスカッションしたりしようとしている。	スピーチ 振り返り
	UNIT 8 関係詞	書くこと	a: 助動詞・仮定法・比較・関係詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況において情報を記述する技能を身につけている。 b: 助動詞・仮定法・比較・関係詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況に応じて書いている。 c: 助動詞・仮定法・比較・関係詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、新聞での悩み相談コラム、講義といった場面、状況に応じて原稿を書こうとしている。	ワーク スピーチ原稿 ライティングシート 振り返り
	期末考査			
2	Chapter 7 アンジェラと地震 Chapter 8 話を聞かない夫 Chapter 9 挨拶 UNIT 9 関係詞 UNIT 10 態 UNIT 11 特殊構文 UNIT 12 不定詞・動名詞	話すこと （やり取り）	a: 接続詞・関係詞・代名詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況において情報を伝える技能を身につけている。 b: 接続詞・関係詞・代名詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況に応じてやり取りしている。 c: 接続詞・関係詞・代名詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況に応じてやり取りしようとしている。	ペアワーク グループワーク 発表 振り返り
		話すこと （発表）	a: 接続詞・関係詞・代名詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況において話をする技能を身につけている b: 接続詞・関係詞・代名詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況に応じて話をしている。 c: 接続詞・関係詞・代名詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況に応じて話をしたり、自分の意見と理由を述べながらディスカッションしたりしようとしている。	スピーチ 振り返り
		書くこと	a: 関係詞・態・特殊構文・不定詞・動名詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況において情報を記述する技能を身につけている。 b: 関係詞・態・特殊構文・不定詞・動名詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況に応じて書いている。 c: 関係詞・態・特殊構文・不定詞・動名詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、ウェブサイト、友達同士の会話といった場面、状況に応じて原稿を書こうとしている。	ワーク スピーチ原稿 ライティングシート 振り返り
		聞くこと	a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を聞きとる技能を身につけている b: ウェブサイト、友達同士の会話に関する英文を聞き、要点を捉えている c: ウェブサイト、友達同士の会話に関して聞き、要点を捉えようとしている	ワークシート
		読むこと	a: 接続詞・関係詞・代名詞の特徴や決まりを理解している b: 単元目標の活動を行うために、ウェブサイト、友達同士の会話について読んで概要を捉えている c: 単元目標の活動を行うために、ウェブサイト、友達同士の会話について読んで概要を捉えようとしている	定期考査 （リーディング）
	中間考査			
	Chapter 10 発見のタイミング	話すこと （やり取り）	a: 形容詞・仮定法・比較の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、メール交換、オンライン講義といった場面、状況において情報を伝える技能を身につけている。	ペアワーク グループワーク 発表 振り返り

	Chapter 11 読書 Chapter 12 メートル法の成立 UNIT 13 不定詞・動名詞 UNIT 14 分詞 UNIT 15 接続詞 UNIT 16 接続詞		b: 形容詞・仮定法・比較の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、メール交換、オンライン講義といった場面、状況に応じてやり取りしている。 c: 形容詞・仮定法・比較の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、メール交換、オンライン講義といった場面、状況に応じてやり取りしようとしている。	
		話すこと （発表）	a: 形容詞・仮定法・比較の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、メール交換、オンライン講義といった場面、状況において話をする技能を身につけている。 b: 形容詞・仮定法・比較の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、メール交換、オンライン講義といった場面、状況に応じて話をしている。 c: 形容詞・仮定法・比較の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、メール交換、オンライン講義といった場面、状況に応じて話をしたり、自分の意見と理由を述べながらディスカッションしたりしようとしている。	スピーチ 振り返り
		書くこと	a: 不定詞・動名詞・分詞・接続詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、メール交換、オンライン講義といった場面、状況において情報を記述する技能を身につけている。 b: 不定詞・動名詞・分詞・接続詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、メール交換、オンライン講義といった場面、状況に応じて書いている。 c: 不定詞・動名詞・分詞・接続詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、メール交換、オンライン講義といった場面、状況に応じて原稿を書こうとしている。	ワーク スピーチ原稿 ライティングシート 振り返り
		聞くこと	a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を聞きとる技能を身につけている b: メール交換、オンライン講義に関する英文を聞き、要点を捉えている c: メール交換、オンライン講義に関して聞き、要点を捉えようとしている	ワークシート
		読むこと	a: 形容詞・仮定法・比較の特徴や決まりを理解している b: 単元目標の活動を行うために、メール交換、オンライン講義について読んで概要を捉えている c: 単元目標の活動を行うために、メール交換、オンライン講義について読んで概要を捉えようとしている	定期考査 （リーディング）
	期末考査			
3	Chapter 13 種の絶滅 Chapter 14 ローンチェアに座って UNIT 17 名詞・代名詞 UNIT 18 前置詞 UNIT 19 形容詞・副詞 UNIT 20 自由英作文	話すこと （やり取り）	a: 疑問視・前置詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、記事、講義といった場面、状況において情報を伝える技能を身につけている。 b: 疑問視・前置詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、記事、講義といった場面、状況に応じてやり取りしている。 c: 疑問視・前置詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、記事、講義といった場面、状況に応じてやり取りしようとしている。	ペアワーク グループワーク 発表 振り返り
		話すこと （発表）	a: 疑問視・前置詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、記事、講義といった場面、状況において話をする技能を身につけている。 b: 疑問視・前置詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、記事、講義といった場面、状況に応じて話をしている。 c: 疑問視・前置詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、記事、講義といった場面、状況に応じて話をしたり、自分の意見と理由を述べながらディスカッションしたりしようとしている。	スピーチ 振り返り
		書くこと	a: 名詞・代名詞・前置詞・形容詞・副詞の観点に着目し、論理の展開や構成を工夫して、記事、講義といった場面、状況において情報を記述する技能を身につけている。 b: 名詞・代名詞・前置詞・形容詞・副詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、記事、講義といった場面、状況に応じて書いている。 c: 名詞・代名詞・前置詞・形容詞・副詞の観点に着目し、相手に伝わるように情報を整理した上で、記事、講義といった場面、状況に応じて原稿を書こうとしている。	ワーク スピーチ原稿 ライティングシート 振り返り

		聞くこと	a: 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を聞きとる技能を身につけている b: 記事、講義に関する英文を聞き、要点を捉えている c: 記事、講義に関して聞き、要点を捉えようとしている	ワークシート
		読むこと	a: 疑問視・前置詞の特徴や決まりを理解している b: 単元目標の活動を行うために、記事、講義について読んで概要を捉えている c: 単元目標の活動を行うために、記事、講義について読んで概要を捉えようとしている	定期考査 （リーディング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度